



破碎帯



破碎帯。灰褐色礫混じり粘土。

割れ目が発達し、部分的に細片状となる。また、一部の割れ目沿いが土砂化する。



割れ目の発達により細片化する。ただし、流入粘土は認められない。

破碎帯



破碎帯
粘土混じり角礫状。未風化。
傾斜は 70°。



割れ目沿いの風化が進み土砂化し始める。

写真-7.1.1.1 B-106 孔のボーリングコア写真



割れ目は開口する。



割れ目はかみ合わない。



割れ目はかみ合わない。

割れ目沿いは変質および風化により粘土化する。



標準貫入試験の試料は礫のみ残る。



変質および風化により割れ目沿いが土砂化する。角礫部は風化せず残る。

割れ目が発達し、部分的に細片状となる。また、一部の割れ目沿いが褐色粘土化する。



割れ目が密集し細片状となる。



割れ目沿いが褐色粘土化する。

写真-7.1.1.2 B-107 孔のボーリングコア写真